

国土交通省熊本河川国道事務所からのお知らせ



熊本河川国道事務所では、利用者に見える道づくりを目指し、道路の供用目標と事業効果の明示、そして徹底したプロジェクトの管理を進めます。なお、阿蘇市関係では、以下の事業が選定されています。

改築目標

事業区分	事業名 (事業延長)	供用箇所	供用目標	平成17年度の 執行目標	
交通安全事業	国道57号 自歩道設置 (延長0.47km)	黒川	平成17年度全区間供用 (H16年度末供用済み)	0.47km 0.27km	工事完成 供用 0.2km
	国道57号 自歩道設置 (交差点改良) (延長0.43km)	坊中 (阿蘇駅前交差点)	平成17年度一部供用 平成18年度全区間供用	0.19km 0.43km	一部区間供用 0.19km



←近く工事が始まる
(阿蘇駅前交差点)

通学時、歩行者と
自転車と安心して
通れるようになりました。
(ヒライ⇄
カドリードミニオン)



問合せ先：国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所 Tel：096-382-1111

※熊本河川国道事務所ホームページには、ちやくプロの内容とともに、事業の概要や進捗状況を掲載しています。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/>

一般国道57号阿蘇大津道路は、大分市から熊本市に至る延長120kmの地域高規格道路「中九州横断道路」の一環として計画されている。阿蘇市車帰から大津町古城に至る延長約5kmの自動車専用道路で、平成12年度に事業着手されました。

この道路を整備することで、阿蘇市にとって九州の中心的な国際環境観光都市としての高速交通網をネットワーク化するのとになり、基幹産業である観光等の産業の発展は計り知れないものがあります。また、国道57号のバイパス的な役割を果たすことで、慢性的な渋滞が発生している国道57号の渋滞が緩和されるほか、災害時の代替路線や救急搬送等にも大きな期待が寄せられています。

せられていきます。外輪山という非常に険しい地形を通過するため、そのほとんどが長大なトンネルで施行される予定です。平成11年5月に環境影響評価が実施されており、水源が8カ所存在するため、現在この水源やトンネル周辺の調査ボーリング孔を利用した水文調査や地質調査等の必要な調査を精査中です。今後は観測中の地下水水位観測孔及び湧水について観測を継続し、トンネル施工が利水施設に影響を与える可能性、影響を与えた場合の代替策案の検討などを行い、本設計等を行うべく予定中です。

中九州横断道路の一部「阿蘇大津道路」の進捗状況

